凡　例

1．「単位」の項目については，４５時間相当の学修をもって１単位とすることを標準としており，その授業方法・授業時間外に必要な学修を考慮し，単位数を定めている。
※本学では，１コマ９０分の授業時間を２時間として換算する。
・講義及び演習については
週１コマ授業（２時間）×１５週の場合
授業３０時間+予習・復習６０時間＝９０時間　⇒　２単位
・実験，実習及び実技については
週１．５コマ（３時間）×１５週の場合
授業時間４５時間　⇒　１単位

2．「週時間」の項目については，左側は講義又は演習の時間数を，右側は実験，実習又は実技の時間数を示す。
例1．『２－０』とあるのは，講義又は演習を週２時間（９０分）で行うことを示す。
例2．『０－２』とあるのは，実験，実習又は実技を週２時間（９０分）で行うことを示す。
例3．『１－３』とあるのは，講義又は演習を週１時間（４５分），実験，実習又は実技を週３時間（１３５分）で行うことを示す。

3．「必修選択」の項目については，『必』は必修科目，『選』は選択科目，『選必』は選択必修科目，『自』は自由科目を示す。

4．「担当教員名」の項目中，氏名の前にある表記については，次のとおりとする。

人	人文社会学部の教員	法研	法務研究科の教員	研機	研究推進機構の教員
国	国際地域創造学部の教員	教研	教育学研究科の教員	島嶼	島嶼地域科学研究所
教	教育学部の教員	教セ	琉球大学教職センター	情セ	情報基盤統括センターの教員
理	理学部の教員	保セ	保健管理センターの教員	障支	障がい学生支援室の教員
医	医学部の教員	Ｇ機	グローバル教育支援機構の教員		
工	工学部の教員	熱セ	熱帯生物圏研究センターの教員		
農	農学部の教員	地連	地域連携推進機構の教員		
非	非常勤講師	機セ	機器分析支援センターの教員		

5．「教室」の項目については，各学部等の頭文字と教室番号を示す。

共1-１００	共通教育棟1号館１００教室	G津梁	附属図書館（国際資料室２B）	・『研究室』『演習室』 教員研究室等を示すので確認すること。
文講１００	文系講義棟１００教室	文研１００	文系学部棟１００教室	
教１００	教育学部校舎本館１００教室	音１００	教育学部音楽棟１００教室	
体１００	体育棟１００教室	彫工１００	彫刻工芸棟１００教室	
理１００	理学部本館１００教室	複１００	理学部理系複合棟１００教室	
保１００	保健学科講義棟１００教室	総合１００	文系総合研究棟１００教室	
工1-１００	工学部１号館１００教室	技１００	技術教育棟１００教室	
農１００	農学部校舎本館棟１００教室			

6．「時限」の項目については，授業時間表『別表Ⅰ・Ⅱ』のとおりとし，たとえば『１前』とあるのは，第１時限前半（8:30～9:15，45分授業）を意味し，『別表Ⅱ』の適用となるので登録の際は留意すること。

7．「期間」の項目については，『半年』は当該学期の開設，『通年』は前学期・後学期を通しての開設，『集中』は集中講義，『クォーター』は前学期と後学期のそれぞれ前半（第1・第3）と後半（第2・第4）に8週で開設する科目のこと。

8．「調整期間登録」の項目については，○印が付されている場合は登録調整期間内に登録する。
○印が付されていない場合はWeb抽選登録となり，登録申請期間内にWeb履修登録を行う。

9．「遠隔授業」の項目に○印が付されている科目は、授業回数の全て又は８回以上を遠隔で実施する。
なお、卒業要件単位に含むことができる上限があるので、登録の際は留意すること。